

## 第4章

基本的人権を無視した『銀行の闇』を暴く！

『銀行の闇』がデッチ上げた富士銀行赤坂支店事件！

銀行は「BIS規制8%」クリア操作のシステムどおり、ノンバンクから他行預金担保融資取引で得た融資金に先取りされた金利を加えて、銀行の預金担保になっていた「架空預金」を本物の「大口預金」（定期預金・通知預金）を作成した。

7日後、返済期日に、「大口預金」（定期預金・通知預金）を取り崩してノンバンクに返済する。

これで、システム化された、銀行の貸出資産を圧縮する「分母の圧縮」という自己資本比率計測用数字の操作「BIS規制8%」クリア操作が完了した。

銀行は「BIS規制8%」クリア操作資金を利用した。その方法は、他行預金担保融資取引の返済期日を決めずに（一覽払い）3ヶ月金利を先払いして、銀行のダミー預金者名義で作成した「大口預金」（定期預金・通知預金）を取り崩し、収益第一主義に走り「VIP特別融資」として顧客に運用した。

こうして、不正取引で得た何千億円もの巨額資金をバブル景気に湧く株式市場・不動産市場・債権市場・各市場に不正運用し巨額な収益を上げた。

その証拠は、後に立証しますが東海銀行は、平成2年11月4日「犯罪者」に仕立てた銀行員を巨額収益を上げた「大型案件」の功績で頭取表彰しています。

### 「バブルの正体」

1987年（昭和62年）から1991年（平成3年）3月末まで約5年間も国が犯した金融政策マネーゲーム「国政と金」利権政治と私が申し上げる根拠は、狂乱マネーゲーム「バブル経済社会」を構築した原因と断言できるからです。

政府金融首脳が我が国の金融機関「銀行」を国際金融市場で「生き残らせる」ため国際金融政策として銀行に金融機関内限定の条件付き極秘「特別プロジェクト」を開発させ、約5年間も何千億円ものシステム化された巨額不正取引を大蔵省「銀行局」が「知らない」「わからなかった」「記憶にございません」ふざけるな！

自民党金融族議員と大蔵官僚が支配する金融護送船団が、大蔵省「銀行局」に圧力をかけ、各派閥議員が銀行から巨額資金を、マネーゲーム「国政と金」利権政治と表現する根拠は「特別融資枠」を銀行に用意させたことなのです。

その証拠は、国会議員の新井議員が「VIP証券枠」その『真相』を記者会見で暴露する準備の最中に自殺？したように、野村証券はじめ4大証券全て国会議員には「VIP特別融資枠」があり巨額資金を株式投資を行い損失補填がなされています。

そして、日本興業銀行を潰した本件事件同様の架空預金証書3420億円この後、銀行の幹部が相次いで射殺される悲惨な事件も続発した。住専問題での農林省と銀行、大蔵省の覚書等、銀行がノンバンクと一体で構築した「不動産神話」等、もう書いたらどれだけページが必要か？

### 恐ろしい「バブル経済社会」崩壊！

1990年（平成2年）5月2日、フランスで開かれたルーヴルサミット「G7」で、今迄「BIS規制8%」クリア操作に用いた「リスクウェイト20%」が、平成3年3月以降「リスクウェイト100%」に変更されることが国際決済銀行（BIS）から大蔵省（現財務省）に通達され「BIS規制8%」クリア操作が厳禁された。

国際決済銀行（BIS）から大蔵省に「リスクウェイト100%」の通達がなされたことで、国と銀行が一体となり国民を不幸のドン底に突き落とした狂乱「バブル経済社会」の崩壊という悲劇を招いた。

その悲劇とは、銀行が平成3年3月末までに、ダミー預金者名義で何千億円もの「大口預金」（定期預金・通知預金）を取り崩してバブル景気に湧く各市場で運用した融資金の処理をしなければならないことです。

各銀行は、運用した融資金の決済が出来ない時は、金利を支払い継続することができた。しかし大蔵省から「BIS規制8%」クリア操作の「終了」が通達されています。平成3年3月末、決算期までに銀行は運用した融資金の処理をしなければならなかったのです。

各銀行は融資金の処理を強行した無茶苦茶な  
「資金の引揚げ・貸し剥がし」の元凶です！

お忘れですか？

当時、年間の自殺者が3万人以上でした。その大半が銀行の厳しい取り立て、「資金の引揚げ」「貸し剥がし」が原因で「多くの倒産で行き場の無くなった中高年男性」「資金繰り行き詰まった企業経営者」「銀行に訳も分からず過剰貸付されマンション・アパート経営をした、その挙句に全て取り上げられた家族」・・・

愚かな国際金融政策の大失態が、国民を悲惨な地獄に追い込み多くの自殺者を出した狂乱「バブル経済社会」の崩壊を招いた『平成の悲劇』です！

各銀行は何としても融資金の処理をするために、巨額な「BIS規制8%」クリア操作を用いて「大口預金」を作り、株式投資や不動産投資にかけたのです。しかし平成2年8月の湾岸危機そして平成3年1月の湾岸戦争が勃発した挙句に平成3年2月各金融市場の大暴落で大損害を発生させた。（ネットで1990年のバブル崩壊を検索してください。）

当然のことですが前述した理由から融資金の回収は不能となり、各銀行は平成3年3月決算期に、銀行内で融資金の処理ができません！

各銀行は、銀行のダミー預金者名義で作成した「大口預金」（定期預金・通知預金）の処理ができません。巨額な融資金の決済ができなければ、融資金は「数字」となります。金融機関内では「現金」を運ぶわけでなく「数字」が為替決済され「現金」になります。そうでしょう。トラックで100億円運ぶのは大変です。（鎌倉時代から「かわし」と言って替え銭に用いられています。）

各銀行が、銀行のダミー預金者名義で巨額な「数字」の損失金を発生させてしまったのです。この、帳簿上残ってしまう結果となった、銀行のダミー預金者名義で発生させた巨額な「数字」の損失金が大問題なのです。

この事実が公になれば、大蔵省「銀行局」と銀行が不正と腐敗の限りを撒き散らした「金融公害」が、まさに白日の下に晒され、大蔵省と銀行に対する国民の怒りが爆発し、大騒ぎとなり預金を引き出すため国民が銀行に押しかけパニックになり銀行は破綻します。

銀行の破綻が公になれば、証券・債権・保険等、金融界全体が被る被害金額は、計り知れない巨額なものになり金融経済社会は破滅し、国際金融社会の信用を失い国際金融市場をも破綻させる状況となり孤立をまぬがれないのです。

各銀行は、全国銀行協会連合会（以下、全銀協と記載）に1991年（平成3年）3月末決算期に銀行のダミー預金者名義で発生させた、巨額な「数字」の決済ができない「現状」を報告したのです。

大蔵省「銀行局」は、非常事態になり全銀協と銀行のダミー預金者名義で、巨額な「数字」の損失金を発生させた、その実態と対処を検討協議した。

### 直視！

銀行の破綻が公になれば、証券・債権・保険等、金融界全体が被る被害金額は、何百兆円にも成り金融経済社会は破滅し、日本の銀行のあり方に対する国際金融社会の信用を失い、国際金融大恐慌をまぬがれないこととなる。

1987年(昭和62年)当時の政府金融首脳大蔵省は、自ら引き起こした、国際金融政策の大失態で、銀行のダミー預金者名義の巨額な「数字」の損失金を発生させた国と銀行が、約5年も犯し続けた国際金融犯罪『国家犯罪』を国民に隠蔽する方策を検討協議した。

今こそ『銀行の闇』がデッチ上げた『真実』を知るべき時なのです！

『銀行の闇』が犯した隠蔽工作。

大蔵省「銀行局」と銀行が不正と腐敗にまみれた「金融公害」を撒き散らしたその挙句に、銀行のダミー預金者名義で、巨額な「数字」の損失金を発生させた。その『処理』を、愚かにも海部内閣が「無法国家」に成り下り、大蔵省を護るため隠蔽を大蔵省「銀行局」に指示したことが『腐った平成30年』を招いた元凶と断言する。

極秘「特別プロジェクト」内で、銀行ぐるみ、銀行のダミー預金者名義で、私設造幣局となり作成した「数字」の不正運用及び高額の収益と、金利と、マージンを吸い上げた、不正と腐敗の限りを撒き散らした「金融公害」の元凶、マネーゲーム「国政と金」利権政治その『闇』を完全に外部に隠蔽するという判断を下した。

大蔵省「銀行局」の方針に従い、金融機関・報道機関・司法機関が一体で

『銀行の闇』

となり『国家の闇』を、『報道機関の闇』『司法機関の闇』闇の執行人が金融機関内で全て処理する富士銀行事件の隠蔽工作を立証する。東海銀行事件の隠蔽工作と現職大蔵大臣の件は第5章で立証する。

得体の知れない「コロナ」同様に 得体の知れない「バブル崩壊」。

大蔵省「銀行局」の正体を知るべき時が来た！

これだけ国民を苦しめた銀行に、国民の税金が投入されたことをもう忘れ了吗？「失われた10年」銀行の金利が「0円」にされ、銀行金利を当てにしていた高齢者がどれほど苦しんだか「腐った平成30年」今日の銀行は預金者に対する取り扱いが余りにも横暴であり理不尽なのです。もう目を覚す時なのです。

## 国家存亡の危機。

大蔵省「銀行局」の方針として、銀行ぐるみ銀行のダミー預金者名義で発生させた巨額な「数字」の損失金を、ダミー預金者に分からないように処理をしなければ極秘「特別プロジェクト」が公になり国際金融市場から追放され銀行が破綻する。

大蔵省「銀行局」は、銀行が破綻したなら金融システムが崩壊し、金融経済社会が破滅する危機を何が何でも回避するため、成り振り構わずマネーゲーム「国政と金」利権政治その『闇』の姿を国民に隠蔽する以外に方策がなかった。

大蔵省「銀行局」は、金融経済社会破滅の危機に対して、取り急ぎ平成3年3月決算期に必要な「数字」の決済資金を自民党金融族議員と大蔵官僚が根回し、一時的に厚生年金から180億円～250億円を用意して、全貌を解明する時間稼ぎ（ソフトランディング）をした。

絶対に許してはいけない『銀行の闇』が犯した暴挙！

皆様、この暴挙をどうか「他人事と思わず」一人でも多くの人々に信じられない隠蔽の「事実」、信じたくない隠蔽工作の「現実」を知らせるのが『室岡塾』とご理解いただきたいのです。

政府金融首脳は、国際金融政策の大失態が原因となり我が国の金融経済社会を破滅に導いたのです。各銀行が極秘「特別プロジェクト」内で私設造幣局を開設し、銀行のダミー預金者名義で巨額な「数字」の「不正資金」を作り撒き散らした『国家犯罪』こそ「バブルの正体」だったのです。

信じられない「事実」です。

各銀行が国民を自殺に追い込んだ融資金の正体が「数字」だった「事実」その挙句に、巨額な「数字」の損失金を発生させた「現実」を隠蔽するため、金融機関（銀行・ノンバンク）全体で「粉飾決済」と「粉飾決算」を企て「数字」の収束処理を行い、不良債権として全ての責任を国民に押し付けたの公的支援です。

そのため銀行員個人が犯した『この世に存在しない』犯罪話をデッチ上げ「汚れ役」を背負わせ、巨額な被害金をデッチ上げ「肩代わり」と欺き、一括償却する「粉飾決算」をした挙句に、国民の巨額な税金（公的資金）を投入し、銀行を再建したのです。

信じたくない『銀行の闇』が犯した隠蔽工作の「現実」です。

大蔵省「銀行局」が企てた、信じたくない隠蔽工作の「現実」が『平成の悲劇』・『腐った平成30年』のはじまりであり、国民に『真実』を知らせず『嘘』と『偽造』にまみれた『隠蔽工作』で、国民の基本的人権を無視し国民から税金をむしり取り経済大国の虚像を維持するため税金を世界中に無駄にバラまき続ける自民党派閥政治を継承しているのが今日の菅政権です。

今でも続くマネーゲーム「国政と金」利権政治この現状、日銀が赤字国債を刷りまくる株価操作をしている「現実」その『真実』の姿を多くの人に知らせて止めなければ、明日にでも我が国の金融経済は破綻します。

大蔵省「銀行局」は「数字」の収束処理を企てた。

大蔵省「銀行局」は「BIS規制8%」クリア操作を銀行ぐるみで犯して巨額損失金を発生させた責任を各銀行の渉外課長とか支店長代理得意先係の銀行員が個人的に犯した、はじめから『この世に存在しない』どこにも犯罪が存在しない犯罪を銀行員個人に「汚れ役」を押し付け銀行内で発生した「被害金」をデッチ上げた。

平成3年3月決算期に巨額損失金を発生させた責任を「BIS規制8%」クリア操作を担当した富士銀が富士銀赤坂支店 渉外課長、協和埼玉銀行本店が営業部次長 東海銀行が秋葉原支店支店長代理得意先係に好条件を提示して「汚れ役」を押し付け「犯罪者」に仕立て上げた。

その目的は、極秘「特別プロジェクト」内で銀行ぐるみ、銀行のダミー預金者名義で巨額な損失金を発生させた「BIS規制8%」クリア操作を隠蔽するため、銀行員個人が銀行内で、ダミー名義で預金担保債権（定期預金・通知預金）と質権設定承諾書を偽造し、銀行内で発生した「被害金」をデッチ上げることだったのです。

理不尽極まりない絶対に許されない 基本的人権の無視！

大手都市銀行の企業戦士といえども「BIS規制8%」クリア操作を担当した渉外課長とか支店長代理得意先係の銀行員に好条件を提示して「犯罪者」という「汚れ役」を憲法で保証された基本的人権を無視して押し付けた、絶対に許されない非道・残酷・残虐な「損失金」と「被害金」のスリ替えを行ったのです。

証拠は、

立証証拠を他行預金担保融資取引書類から立証証拠をコピー偽造したことです。極秘特別「プロジェクト」内で銀行ぐるみ銀行のダミー預金者を捏造して預金担保債権を偽造した不正取引を隠蔽するため、銀行内で銀行員が個人的にダミー名義の預金担保債権（定期預金・通知預金）と質権設定承諾書を偽造した被害者を銀行、加害者を銀行員個人と、はじめから『この世に存在しない』不正融資事件をデッチ上げたことが「証」です。

大蔵省「銀行局」の方針として、金融機関内で全て処理する「銀行員個人」が銀行内で、はじめから『この世に存在しない』「犯罪」で発生した巨額な「被害金」と銀行ぐるみ、ダミー預金者名義で発生させた巨額な「数字」の「損失金」をスリ替えたのです。

そして、富士銀行は富士銀行赤坂支店の被害金を富士銀行が銀行員の使用者責任として「肩代わり」東海銀行は「債権譲渡契約書」を締結し「数字」の収末処理「マッチ・ポンプ」を図った。

平成3年7月末のXデイ

大蔵省「銀行局」は、平成3年7月末をXデイと決め大手都市銀行から富士銀行・協和埼玉銀行・東海銀行の三行を選び、はじめから『この世に存在しない』どこにも犯罪が存在しない預金担保融資話と承知して、加害者を「銀行員個人」被害者を銀行とした「被害金」をデッチ上げた。

そして、大蔵省「銀行局」は報道機関に、はじめから『この世に存在しない』預金担保融資話の発覚と告訴を三行の副頭取に記者会見をさせて、新聞報道で公表した。

大蔵省「銀行局」の方針に従い『報道機関の闇』が新聞報道で国民を騙した！

それぞれ銀行員個人に「汚れ役」を押し付ける、隠蔽工作が新聞報道された信じられない隠蔽の「事実」、信じたくない隠蔽工作の「現実」。

平成3年7月25日

平成3年7月26日

平成3年7月27日



平成3年7月25日、新聞報道された富士銀行赤坂支店事件 被害総額 2600 億円「有印私文書偽造同行使特別背任」で告訴をデッチ上げた。(「特別背任」ですから被害者は富士銀行赤坂支店です。)

平成3年7月26日、新聞報道された協和埼玉銀行本店事件 被害総額 80 億円の「有印私文書偽造」で告訴をデッチ上げた。

平成3年7月27日、新聞報道された東海銀行秋葉原支店事件 被害総額 630 億円の「有印私文書偽造同行使」で告訴をデッチ上げた。(行内で犯した有印私文書偽造同行使 で、被害者は東海銀行秋葉原支店です。)

大手新聞各社が『闇』の執行人となり、大蔵省「銀行局」銀行課が銀行法に則して日々必要な監視、介入を行っている大手都市銀行三行を舞台に、『銀行員が約5年かけて総額3310億円を騙し取った』国民をなめきった新聞記事です。

更に、国民を愚弄したのは3日間連続で同時期、同様の金融経済社会では銀行法で存在しない、荒唐無稽な有りもしない犯罪が「発覚」し「告訴」したなどと、平然と『大嘘』を垂れ流すのです。

大蔵省「銀行局」の方針に従い、報道機関が『報道機関の闇』となり新聞各社が、はじめから『この世に存在しない』どこにも犯罪が存在しない話と承知した、その上で国民を騙すため非常識な『大嘘』を平然と何度も繰返し報道した。信じられない隠蔽の「事実」、信じたくない隠蔽工作の「現実」を国民は知ることです。

今も、29年前も、政府の広報部となった報道機関各社は『大嘘』を垂れ流す。

今、国民が真剣に政府の広報部に成り下がった『報道機関の闇』CNNはじめ世界のテレビ局は、新聞社が経営することを法律で禁止している。総務大臣が電波を支配するのですから新聞社・テレビ局は『闇』に従い『大嘘』を垂れ流すのです。

この記者会見に立ち会い記事にした、報道機関各社の記者は、ペンの暴力を自覚していますか。大蔵省「銀行局」の企てた方針に従い、報道機関各社は『国家の闇』その『闇』を国民に隠蔽するため、憲法で保障された「国民の知る権利」を無視した。

大蔵省「銀行局」の指示どおりマスコミ各紙が広報部となり連日、はじめから『どこにも犯罪が存在しない』何千億円という不正融資事件話と承知した上で堂々と各副頭取の記者会見を「事実」のごとく新聞報道するのですから、何も知らない国民は誰もが信用します。

大蔵省「銀行局」の方針に従い、『報道機関の闇』闇の執行人となった新聞記者の方々は、自分が書いた記事が多く銀行員と借受名義人の「29年の人生」を奪い取った「ペンの暴力」を自覚する時なのです。

森友事件でNHKの報道記者が安倍政権の幹事長菅氏の圧力で追放され都落ちして大阪で必死に『真実』を追及し、赤木さんの奥様を勇気づけ、やっと財務省（元大蔵省）の『闇』を公にするところまでできました。

もう第二次世界大戦下の大本営発表のような提灯記事で、オリンピック・パラリンピックを正当化する報道は「ペンの暴力」と自覚すべきなのです。貴方の記事がお子様からお年寄りまで命の危険に晒してる事実「ペンの暴力」を真剣に考える時です。JOC総務部長に就任した2ヶ月後に身代わりはやだ！本当に辛いです！

この記者会見に立ち会い記事にした、報道機関各社の記者は、ペンの暴力を自覚していますか。この新聞報道でどれだけの自殺者をだし、現職大蔵大臣の身代わりに仕立て上げられた私はじめ銀行員、数十人の借受名義人が「29年の時と財産」を奪い取った「現実」です。恥を知れ！『大嘘』を垂れ流すな！国民を騙すな！

大蔵省「銀行局」の指示どおりマスコミ各紙が広報部となり連日、はじめから『どこにも犯罪が存在しない』何千億円という不正融資事件話と承知した上で堂々と各副頭取の記者会見を「事実」のごとく新聞報道するのですから、何も知らない国民は誰もが信用します。

『銀行の闇』がデッチ上げた富士銀行赤坂支店事件！

富士銀行赤坂支店事件の不存在。

平成3年7月25日付、富士銀行赤坂支店事件のデッチ上げ。

富士銀行は、被害総額2600億円（51件）の「肩代わり」2329億円の処理をファイナンスと行い、処理できない271億円の被害金を「有印私文書偽造、同行使、特別背任」罪をデッチ上げ警視庁に銀行員を告訴した。

皆様、ファイナンス会社（ノンバンク）との取引、他行預金担保融資取引は民事取引であり「犯罪」は存在しないのです。ですから銀行内で個人的にダミー名義の預金担保債権（定期預金・通知預金）と質権設定承諾書を偽造した被害者を銀行、加害者を銀行員個人と犯罪構造を『銀行の闇』がデッチ上げたのです。

はじめから『この世に存在しない』犯罪をデッチ上げた新聞報道です。



報道機関各社は、経済社会の常識を無視した報道をしました!  
報道機関各社の記者は以下の質問をなぜしないのか問う?

- (1)、富士銀行赤坂支店は、約5年間も継続して銀行のダミー預金者名義で総額2600億円(51件)を発生させた、大蔵行政の責任を追及しないのか?
- (2)、犯罪取引構造『富士銀行赤坂支店渉外課長らが都内の不動産業者など23社の取引先名義で総額2,600億円の架空預金証券を発行、これをファイナンス会社十数社に持ち込み、取引先企業に対する同額の融資を行わせていたことが、25日明らかになった。同行はファイナンス会社の融資を肩代わりしたが、肩代わりが不能で富士銀行がファイナンス会社に支払った被害金額は271億円に登る。同行は、この不正融資に関係した三支店四人を懲戒解雇するとともに同日、被害を出した三人を警視庁に有印私文書偽造、同行使、特別背任容疑で告訴する。』

と記事にしていますが自分の職業を理解しています。犯罪構造「有印私文書偽造 同行使特別背任罪」を理解していますか?

大蔵省「銀行局」の方策に従い、富士銀行は、銀行のダミー預金者名義で総額2600億円(51件)を発生させた「数字」の損失金を、処理する目的で、渉外課長に好条件を提示し「有印私文書偽造同行使特別背任罪」をデッチ上げたのです。

当たり前のことですが「有印私文書偽造同行使特別背任罪」は銀行内で犯した犯罪です。富士銀行は、富士銀行赤坂支店が銀行ぐるみ発生させた損失金を被害金271億円とすり替えたのです。そのために「汚れ役」を渉外課長個人に押し付け、全ての責任を『銀行の闇』が負わせたのです。

人として絶対やってはいけない非道を直視してください！

その証拠が、参議院 第121回 国会証券及び金融問題に関する特別委員会 第5号 です。平成三年九月五日(木曜日) 午前10時開会

参議院  
参院 第121回国会 証券及び金融問題に関する特別委員会 第5号  
平成三年九月五日(木曜日)  
午前10時開会

委員の異動

九月四日

辞任	補欠選任
谷川 寛三君	鹿熊 安正君
安恒 良一君	堀 利和君
諫山 博君	高崎 裕子君
古川太三郎君	高井 和伸君

九月五日

辞任	補欠選任
高崎 裕子君	諫山 博君
寺崎 昭久君	三治 重信君

出席者は左のとおり。

委員長	平井 卓志君
理事	
	大浜 方栄君
	斎藤宗三郎君
	山岡 賢次君
	北村 哲男君
	白浜 一良君
	近藤 忠孝君
	池田 治君
	三治 重信君
委員	
	井上 章平君
	石井 道子君
	石川 弘君
	石原健太郎君
	合馬 敬君
	狩野 明男君
	鹿熊 安正君
	陣内 孝雄君
	須藤良太郎君
	高橋 清孝君
	西田 吉宏君
	野末 陳平君
	岩本 久人君
	種田 誠君
	野別 隆俊君
	堀 利和君
	前畑 幸子君
	村田 誠静君
	本岡 昭次君

参議院  
○木庭純太郎君 はい。  
○参考人(橋本徹君) そうします……  
○木庭純太郎君 元課長が言っていることに對してどう思っているか、違うようなら、  
○参考人(橋本徹君) 元課長はそういう言っておりますが、私どもの方は、その当時の支店長に直接聞きましたところ、彼の方はそうではないというように言っております。  
○近藤忠孝君 ただいま入ったニュースによりますと、東京地検特捜部は本日午前中、旧埼玉銀行の東京営業部長、これは外山といいますが、を逮捕いたしました。これは、預金の質権設定承諾書偽造でノンバンクから四十億円融資させたという意味では、今問題になっている富士銀行と同様の事件で初めての逮捕であります。  
そこで、富士銀行の頭取としての感想をお聞かせください。  
○参考人(橋本徹君) 他行の事件でございますので、不用意なコメントは避けさせていただきますと思います。  
私どもの事件につきましては、ただいま捜査当局が捜査中でございまして、早晩その辺のところが明らかになるんだろうかと思っております。  
○近藤忠孝君 最新の週刊文庫によりますと、これは中村元課長から聞いたことが出ています。「私は富士銀行に「汚れ役」を押しつけられた」ということあります。その冒頭の部分で、五月二十三日に発見し、六月九日から七月二十八日まで何と五十日間わたって富士銀行で仮留にされたと述べております。どこに仮留にしたのか、その箇所をしておたのか、お答えいただきたい。当然、頭取に報告が来ているはずですが。  
○参考人(橋本徹君) 仮留というように御本人が言っておられるようですが、私ども、仮留にしたつもりはございまして、御本人の了解のもとに御本人からいろいろ事情を聞いておたこととございまして。  
○近藤忠孝君 警察とは申しておりません。これは犯罪であります。五十日間も仮留にしたわけでありましたから、要するに事実を聞き出した。富士銀行は全貌をつかんでいると理解しております。この本人から聞き出したことは全部頭取のもとに報告されておりますね。  
○参考人(橋本徹君) 私のところにそのまんまの報告が参っております。  
○近藤忠孝君 では、何でも御存じのことです。  
次に、先ほど二千六百十億円の不正確融資の件で、融資をしたノンバンクについてのお話がありました。八社は公表してもよいと承諾したということですが、この公表してもいいと言ったノンバンクが、これから申し上げます。その中に含まれているかどうか、向こうが公表しているかどうか。  
三井不動産ファイナンス、日本信販、オリックスアルファ、住商リース、オリックス、コスモ信販、夏目商事、ナショナルクレジット、M・B・M銀行、昭和リース、シャープファイナンス、YSファイナンス、総合ファイナンス、日質信。以上、どうですか。  
○参考人(橋本徹君) 確かにこの十五社中の八社は名前をディスクロースしていいと。ただ、条件がありまして、十五社全社がディスクロースをする場合にはディスクロースしていいということでありまして、まだあとの七社の承諾が得られておりませんので申し上げるわけにまいりません。御了承願いたいと思っております。  
○近藤忠孝君 残りの七社も今申し上げた中に含まれておりますか。  
○参考人(橋本徹君) 大変恐縮でございますが、その点も確認することはできませんので、御了承願いたいと思っております。  
○近藤忠孝君 委員長、それは参考人だからなくてもいいということなんでしょうか。これは国民の要求によって、国会として公共性を持つ金融の不正を今だしているんです。こういう再発防止のためにこの委員会を聞いて、そのためにあなたに集っていただいているわけですから、あなたの方が動かし金あるいは不正融資になった金、これは国民の金なんです。これは経済の血液です。今の態度、許せないと思うんです。  
どうですか、委員長、委員長からもお動機になりませんか、今のこのことについての答えをいただくことを。  
○委員長(平井卓志君) 委員長から申し上げます。  
本日は参考人質疑でございますので、今のやりとりの中身については質疑者本人と詰めていただきます。  
○近藤忠孝君 では、これは理事会で問題になったけれども、答いかんによっては証人というところも有り得るということだと思います。  
次に、このノンバンクからの金は、結局富士銀行に流れていきますよ。その中から中村元課長に渡った金はあるかどうか。中村元課長には一億八千万のリベートが行っている、これはもう明らかになっている事実です。行っていることは確かですね。どこから行っているのか、そして、そこから政治家へ渡っている可能性もあるんじゃないか。何しろ中村から全貌を聞いたんだから、わかっているはずですが。  
○参考人(橋本徹君) お答えいたします。  
本人からもちろんいろいろな報告を受けておりますけれども、本人が不正に調達した金をその後のように使ったか、そのあたりについてははっきりとございせん、聞いておりません。  
○近藤忠孝君 これは五十日間も聞いたんだから、何を聞いていますか。やっぱり行方がわからなや悪質さわかりませんか、また銀行の責任も果たせませんか。その答弁は私は成り立たぬと思うんですよ。  
○参考人(橋本徹君) 確かに五十日におたっている事情聴取はいたしましたけれども、私どもに対する回答にはやはり限界がございまして。そのために私どもは、二百五十億の被害を受けたということで捜査当局に告発いたしました。司馬の手で今解明が進んでいるところでございまして、その辺のところにつきましては、私どもの方では承知しておりますので、これから司馬の手で明らかになっていくところと存じます。

上から12段目、近藤忠孝議員が、富士銀行頭取に対して質問をしました。

{ 最近の週刊文春によりますと、これは中村課長から聞いた事が出ています。  
「私は富士銀行に『汚れ役』を押し付けられた」という事があります。その冒頭の  
部分で、五月二十三日に発覚し、六月九日から七月二十八日まで何と五十日間にわ  
たって富士銀行で缶詰にされたと述べております}と質問しています。

富士銀行頭取は「五月二十三日に発覚し、六月九日から七月二十八日まで何と  
五十日間にわたっていろいろ御本人から事情を聞いていた」と答えました。

新聞記事の七月二十五日「発覚」が大嘘です！  
「発覚」が大嘘なら「告訴」も当然大嘘です！

平成3年6月9日から平成3年7月28日まで、50日間も富士銀行の千駄ヶ谷銀  
行寮、そこで「汚れ役」の渉外課長個人に全ての責任を押し付けるため、一般庶民  
では想像を絶する悲しい、信じたくない隠蔽工作を行いました。

渉外課長個人が騙し取った被害金総額2600億円を、富士銀行が「肩代わりした  
2329億円」と「被害金を支払った被害金額271億円」をデッチ上げ巨額な「数  
字」の収束処理をした。

審判してください！

富士銀行は平成3年7月25日、新聞報道する前に「被害金を肩代わり」という  
『粉飾決済』が終わっていた。国会にノンバンクは出ません『真実』がばれます。

平成3年6月9日から7月28日まで50日間も赤坂支店行員を千駄ヶ谷の寮に  
缶詰にして等と問答されていることが、マネーゲーム「国政と金」利権政治自民党  
派閥政治の温床なのです。「森友学園」事件同様に、我が国の国会がどれだけ国民  
軽視を続けている現状が理解できるはずです。

渉外課長は『国家犯罪』その真相を闇から闇に葬り去る目的で、50日間も千駄  
ヶ谷の富士銀行の銀行寮に缶詰となり一般市民では想像を絶する国法を無視した  
隠蔽工作で「犯罪者」となり刑務所に行くための立証証拠をコピー偽造した。

大蔵省「銀行局」は、各銀行が銀行のダミー預金者を捏造して、銀行のダミー預金者名義で発生させた巨額な「数字」の損失金を収束処理することが出来なければ銀行は破綻します。そうなれば金融経済社会は破滅し大蔵行政の不正と腐敗が公になるのです。

各銀行が極秘「特別プロジェクト」内で銀行ぐるみ、銀行のダミー預金者を捏造して施設造幣局となり銀行のダミー預金者名義で「金銭」の伴わない「数字」で、一件50億円・一件100億円の「大口預金」（定期預金証書・通知預金通帳）を作成して取り崩し、収益第一主義に走り「数字」を撒き散らした。

各銀行が国際金融戦争用に開設した極秘「特別プロジェクト」内で銀行ぐるみ不正腐敗を撒き散らした国際金融犯罪が元凶となり狂乱マネーゲーム「バブル経済社会」の構築と崩壊を招いたマネーゲーム「政治と金」利権政治と断罪する『国家犯罪』ダミー預金者名義で巨額な「数字」の損失金を発生させた「バブルの正体」が公になれば金融経済社会が破滅するのです。

即ち、ダミー預金者に知られること無く銀行のダミー預金者名義で発生させた巨額な「数字」の損失金を収束処理するた銀行員個人が犯した、はじめから『どこにも犯罪が存在しない』預金担保融資事件話を大蔵省「銀行局」がデッチ上げなければ我が国の金融経済社会は破滅する以外なかったのです。

悲しくないですか？人間の仕業ですか？『銀行の闇』の仕業です！

大蔵省「銀行局」の方針に従い『銀行の闇』が図った隠蔽工作に従い、国と銀行が犯した国際金融犯罪・『国家犯罪』マネーゲーム「国政と金」利権政治を隠蔽するため、一般庶民では想像を絶する非道・残酷・残虐な、銀行員個人の基本的人権を無視して「汚れ役」を押し付けた暴挙こそ、金の亡者という悪魔に取り憑かれた自民党金融族議員と癒着した大蔵官僚が牛耳る金融護送船団の姿なのです。

皆様に「知って戴きたい」非道・残酷・残虐な『警察・検察・裁判所の闇』闇の執行人がデッチ上げた「逮捕状」で、富士銀行の借受名義人にデッチ上げられた十数人の「29年の人生」と多くの家族・社員・友人達の人生も奪い取った悲劇なのです。